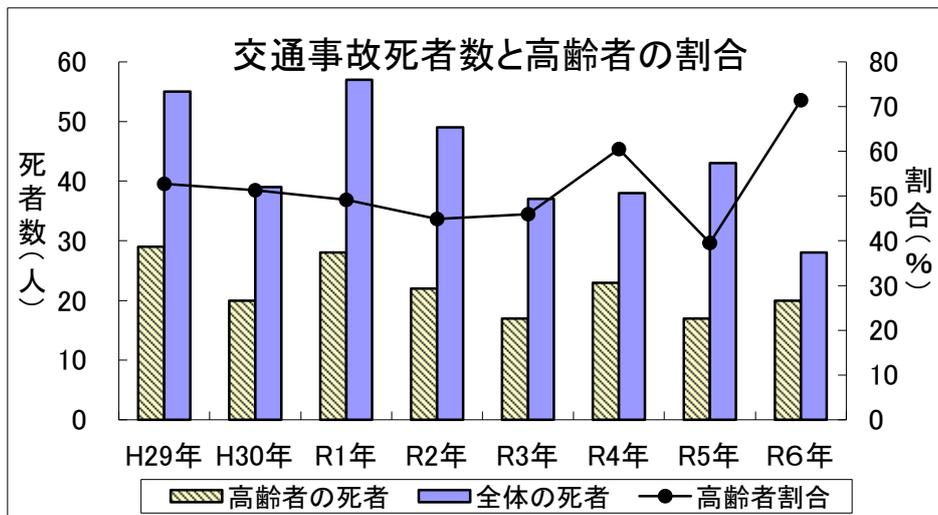
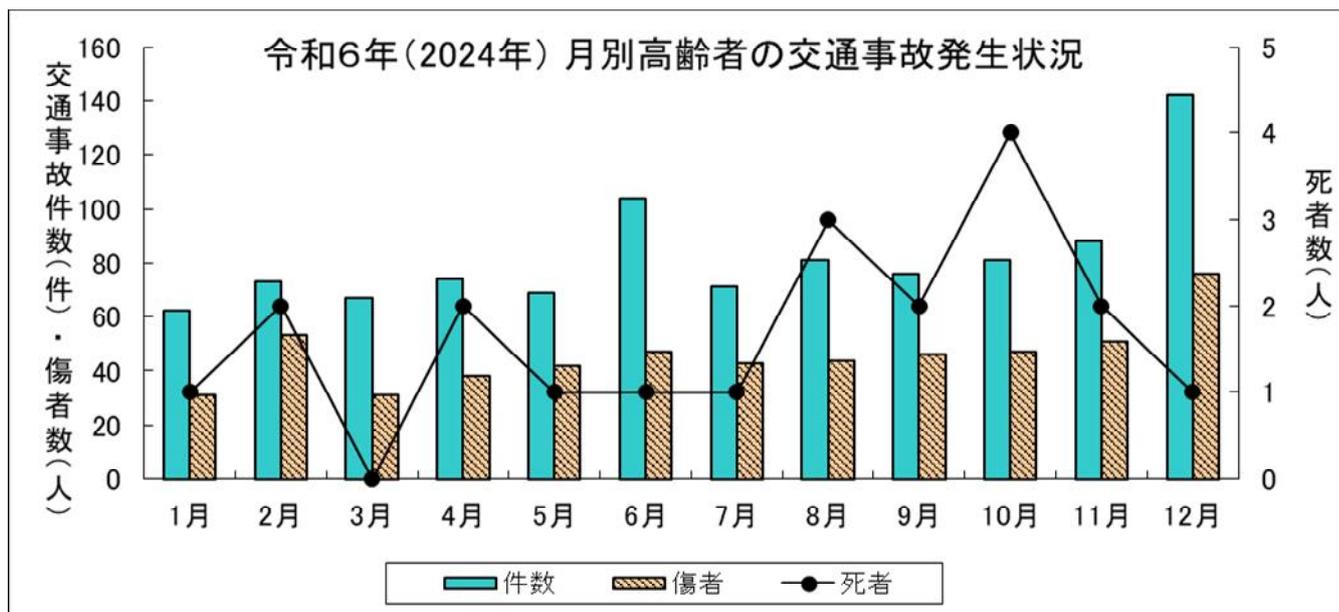


地域ぐるみで 高齢者の事故防止を！



令和6年(2024年)中は、交通事故死者数28人のうち65歳以上の高齢者は20人で、**全体の約71%**を占めています。令和5年の約40%と比較すると、高齢者死者の割合は高率を占めています。



上のグラフは、「令和6年(2024年)月別高齢者の交通事故発生状況」を表したものです。事故件数は、**12月が一番多くなっています**。死者数は、**歩行中が10人で最も多く、次いで自動車運転中が5人**でした。これからの季節は、早く日が暮れます。夕暮れ時間帯や夜間に出かける時、歩行者や自転車利用者は、明るい色の服装や、反射材を身につけましょう。



高齢者の交通事故をなくすには、地域ぐるみで具体的な行動を起こすことが何よりの対策です。町内会等の会合で少しの時間を割いて、**高齢者の交通事故防止を話題にしたり、高齢者が交通事故に「あわない・起こさない」ため、町内の危険箇所やヒヤリとした体験を話し合ったり、自動車の特性や交通事故状況等の知識を学んだりする**などの行動を起こすことで、地域全体の危機意識を高め、悲惨な交通事故を防止しましょう。

	「滋賀の交通」 死傷者の年齢層別→死者年齢層別							
	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
高齢者の死者	29	20	28	22	17	23	17	20
全体の死者	55	39	57	49	37	38	43	28
高齢者割合	52.72727	51.28205	49.12281	44.89796	45.94595	60.52632	39.53488	71.42857

	「滋賀の交通」R6(2024) 高齢者の事故												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
件数	62	73	67	74	69	104	71	81	76	81	88	142	988
死者	1	2		2	1	1	1	3	2	4	2	1	20
傷者	31	53	31	38	42	47	43	44	46	47	51	76	549

